

こんげつ ひとこと  
〜〜〜今月の一言〜〜〜

ひっしやめい なぐら  
筆者名 名倉

【ああ我が懐かしき夏休み】—高田馬場(旧・戸塚町のお話)—昭和  
のあの頃、決して裕福じゃなかったけど今より皆が笑顔だった。  
朝は鶏の声で目覚め、お仏壇にご飯とお水をお供え池の金魚に餌を  
やり、玄関から「朝刊で〜す」と新聞が投げ込まれ、次に牛乳屋  
さんが来ます。朝食は納豆に焼き海苔、お麩の味噌汁が定番でし  
たね。日中は友達と交通公園へ。一周60円のゴーカート乗りに  
良く行ったものです。(今のコズミックセンター・昔の新宿体育館  
裏) その手前には平屋の文化住宅が並んでましたね。(現在のオレ  
ンジコート一帯) 母の影響でコマ劇場にもよく行きました。帰り  
には紀伊国屋の前にあった焼売の早川亭に寄るのか楽しみでした。  
夕方は井戸で冷やしといたスイカを食べて盆踊りへ。アンズ飴にソ  
ースせんべい・東京音頭に炭坑節、いつもと違う同じ小学校の女子  
の浴衣姿にはトキメキましたね〜。ホントに楽しい時間でした。

しょうわ とお  
【昭和は遠くなりけり】

幸せだったあの頃とは人も街の風景もすっかり変わり、ともすると  
目まぐるしい時代に取り残されそうになる昨今、私も日々努力と  
前進あるのみです。皆さん、お互いにこの猛暑を一緒に乗り切りま  
しょう。嫌でもいつか涼しくなりますから(笑)  
2号室でお待ちしております。